



第1818回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL.38 No.22

2011年12月21日(水)

事務所:田辺市下屋敷町81 - 10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30 ~

司会者 上原 俊宏 会長

唱歌 "田辺東ロータリー讃歌"

山本 亘 君

ゲスト

闘鶏神社 宮司 長澤 好晃 様



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
48名	3名	2名	95.56%
12月7日の修正出席率88.89%			

ニコニコ箱

(敬称略)

闘鶏神社 宮司 長澤 好晃 様をお迎えして。
 泉、木村、杉若
 忘年会の節はありがとうございました。 吉田
 本田さん、橋本さん、昨晚は楽しかったです。
 お疲れ様。 北村
 米山ただいま50%。受付中、今日までです。
 宜しく。 玉置
 本年度最終例会です。来年も元気で頑張りましょう。
 藍畑、愛須、榎本、橋本、畑地、平野、本田、堀
 片井、小山、畔田、楠本、前田、丸山(博)、森本
 中川、中嶋、小倉、岡本、沖、佐田、坂本、武田
 竹村、谷峯、谷本、谷中、内芝、上原、浦地
 渡口、山本、吉本
 お花頂きます。 内芝

- 3 まだ実を結んでいませんが「ロータリーの傘」を提唱しています。
- 4 何よりも驚いたのは、7月20日、台風通過による例会の中止をしたことです。
- 5 それでも、なんとか10月12日公式訪問を終えることが出来ました。
- 6 9月になりますと、紀南地方を台風12号が襲い、多くの災害を被りました。額は少ないのですが、新宮、勝浦RC、龍神と本宮のプロバスクラブに当クラブ独自のお見舞い金を送付しました。
- 7 後に台風義援金としては、当クラブから和歌山県に五十万円を提供いたしました。
- 8 そうこうしているうちに、一身上の都合ということですが、平尾会員の退会がありました。
- 9 田辺東RC40周年記念準備委員会を設置し、谷中順次郎君に委員長をお願いしました。
- 10 何よりの朗報は次々期会長候補を選ぶ指名委員会で、竹村会員を選んで頂いたことです。
- 11 今期は、災害の影響もあり例年とはケタの違う義援金の必要がありました。40周年に対する積み立ての必要性もあり、会員の方々には多大のご負担を願うこととなりました。常日頃の、多大の奉仕活動に加えて、経済的にもご負担をいただきました。ありがとうございました。伊能忠敬であったか、九十九里を持って半ばとす。とか。私のロータリーの会長任期も暦の上では、半ばを過ぎようとしています。皆さまがたには残り半年も、通常の奉仕の精神を基本に、さらに倍旧の御協力のほどお願い申し上げます。会長エレクト時代からの公約であります「田辺東ロータリークラブの会員とその家族全員が恙無く無事に

前半期のあいさつ

この7月からの新しい年度は、多分に前年度のガバナー問題を残したままの船出でした。7月8日は会長としての肩書も不明な状態が続きましたが、お盆を過ぎてやっと会長になったようです。

今年度の行動の多くは、先代、先々代の会長、会員の行った事業の継承となっています。

少し新しい事も加え以下のような事を行ってきました。

落葉帰根 を標語として目標にしたこと。「心の中を見つめよう、さらなる奉仕のために」を具現化したものです。

- 2 退会者に感状と記念品を届けるようにしたこと。当初3名。

奉仕活動に邁進できることを希望します。」を具現するために、前年度のメの例会で、わが国古来の宮中行事として知られる「大祓の儀」を行わせて頂きました。闘鶏神社さん、ありがとうございました。

会長報告

本日は前期最終例会です。後ほど、ご挨拶致しますので宜しくお願い致します。

12月17日(土)米山学友総会に坂本正人君、出席ご苦労様でした。

12月18日(日)青少年交換オリエンテーションに参加の田辺高校1年の西岡あかねさんと、平野好史君、出席ご苦労様でした。

12月23日(金・祝日)会長エレクト勉強会に、橋本隆君、出席宜しくお願いします。

先日の定例理事会の報告を致します。

- ・本日の最終例会の食事前に大祓いをする事について承認
- ・12月28日、1月4日の例会を休会について承認
- ・紀伊民報の新年特別号に新聞広告を打つ件 否認
- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金への寄付の件 否認
- ・来年2月の田辺市立図書館新館の開館時に当クラブからのお祝として車いすを2台プレゼントすることについて 会長に一任
- ・新年初回例会における会員バッジの和服装着に関して、非着用を問題としないことについて承認
- ・上記例会での個人写真撮影 特にパスト会長の写真アルバム作成を行うことについて承認
- ・新規に会員同士の年賀状は控えるように、協力を願う件 承認
- ・地区より2013-14年度ガバナー候補者の推薦書提出依頼について当クラブでは推薦者は無しということで承認
- ・後期会費9万円と合わせて40周年記念事業の積立金を徴収する件 積立金を1万円で承認 (希望者には、年会費と合わせて「10万円の年会費」とした領収書を発行します。不要の方は、後期会費9万円と積立金1万円の二葉の領収書を発行します。)

新宮RCさんより台風12号災害による当クラブからの義援金に対するお礼状が届いています。

次回は1月11日(水)18:00~新年家族例会です。

幹事報告

例会日時変更

- ・串本RC 12月27日(火) 休会
2012年1月3日(火) 休会
- ・那智勝浦RC 12月29日(木) 休会
2012年1月5日(木) 1月6日(金)12:30~
場所:熊野那智大社 (初詣例会)
- ・海南西RC 2012年1月26日(木) 1月29日(日)
場所:姫路方面 西国巡り

メイクアップ

12月14日(水)定例理事会

上原会長、佐田幹事、後藤 信博君、中嶋 伸和君、竹村 英一君、山本 亘君、橋本 隆君、西谷 次彦君、坂本 正人君

回覧

- ・週報「白浜RC」「粉河RC」
- ・ガバナー事務所より「ガバナー月信12月号」「英語版ロータリアン12月号」
- ・第23回JGFR(日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会)沖縄大会のご案内
- ・「第13回ロータリー国際囲碁大会」のご案内連絡
- ・今年4月以降の寄付金につきましては、公益財団法人に対する寄付金として税制上の優遇措置が適用されます。R財団より「税額控除に係る証明書」が届いています。該当の方のトレーに入れておきます。宜しくお願い致します。
- ・9月に卓話に来ていただいた俳優の小西博之様より「第2回いのちのうた大合唱 みんなで唄いましょう」のご案内をいただいております。各自トレーに入れておきます。宜しくお願い致します。
- ・後期会費納入案内を各自トレーに入れておきます。宜しくお願い致します。
- ・次回の例会は1月11日です。「新年家族例会」となっています。
直前になりましたら、全会員あてに連絡のFAX又はメール配信をいたします。宜しくお願い致します。
- ・1月のロータリーレートは1ドル=78円です。

本日のプログラム

+ ~ 大祓の儀 ~
闘鶏神社 宮司 長澤 好晃 様



行く年に向けて、会員全員のみそぎをとり行いました。

神仏霊場会

神仏霊場会への誘(いざな)い



「絆の大切さ」

宗教に違いはあれど思いは同じで、それぞれの方が信じ、そして絆を深めて行くことが大切です。

先の東北震災、そして以前に発生した神戸震災とその時、それぞれの人は人と人のつながりの大切さを感じたと思われまます。

祭りは共に集まり、そしてつながる - - - - それは絆を感じる事である。

神仏の教えは古来のもので、社寺がすべて平和の祈りをささげています。

「大はらい」とは、新しい年を迎える為の大はらいなごしの大はらいが大変有名で、是非皆様もご参拝下さい。

罪やけがれをはらう。

昔からのならわしで、人型にたくし、水の力により清浄にきよめる儀式

言霊(ことだま：言葉は生きている。知らず知らずに言葉で相手を喜ばせたり、楽しませたり、又傷つけて罪をつくる)

けがれとは、気が枯れる事を指す。

伝染病でたくさんの人々が死ぬ。それは気が満ちていないので、気を満たす事が重要と考えられる。大はらいをする。

人型に悪い物を封印し

流す

流しびななど、変型して行く

伝統や文化を同じ価値観で見えていただければ良い

人は、この世に生を受けて後、人生の終わりの瞬間を迎えるまでにいったい幾たび手を合わせ、神に願い仏の加護を祈ることでしょうか。一つの答えとしては、その無限の繰り返しによって人は自ら与えられた時を刻み続けるのだといえます。私たちの心が、大いなるものすなわち“Something Great”の助けを求めらる中で、自ずと表れる“あるがままの姿”こそが祈りの姿なのかもしれません。ここで、皆さまへのご提案です。混沌とする世情や不安や悩みを祈りや感謝と共に神様仏様に預けてみませんか。自然や森と共生する神仏霊場を訪れる試みは、必ずや皆さまの心を豊かにし、安寧に導いてくれるはずで。神様は何所にいらっしゃるのか、その姿をけって現してはくれませぬ。仏様は衆生の何を見つめているのか、言葉に託して教えてはくれませぬ。でもそこかしこに居まし、私たちの全てを観ていらっしゃることは確かです。だからこそ大いなるもの(サムシンググレート)なのです。自然の全てに神様の姿を見出してきた日本の精神文化は、仏様の来日で新たな祈りの活路を拓いてきました。一切衆生の救済という仏様の教えが容易に受け入れられた背景には、生きとし生けるものの中に神様の姿を見てきたからであります。ここに神仏霊場会、神仏和合の源があるともいえます。

清きにして明るく、正しきにして直(なお)き神様。 広大無辺な慈悲の心で、衆生をお救いなさる仏様。 このような神仏の精神を身に受け、新たな力を得て、世のため人のために尽くした果てに、やがてたどり着くのであろう魂の安らぎ。その約束の地への「心の道」こそが神仏霊場巡拝の道に他なりません。

さて皆さん。“今”“この時”“この瞬間”に芽生えつつある自分の内なる小さな信仰心を大切に、神仏霊場に自らを誘ってみてはいかがでしょうか。それはやがて大きな、大きな“Something Great”との出会いへとつながることでしょう。

見えるばかりが世の中ではありません。言葉に託されないからといってメッセージが無いわけではありません。自分の中に答えを出してくれる大いなるもの(サムシンググレート)との出会いが、神仏霊場巡拝の道には待っています。

その一つ一つが重なり合って、安らげき国の姿や社会の安寧、世界の平和がこの地上に訪れんことを……。



神仏霊場会会長
加藤隆久 生田神社宮司

忘年会

2011年 東ロータリークラブ忘年会風景

時間 PM6:00~PM8:00

会場 あしべ様



皆さんお疲れ様でした。美味しいお料理とお酒で、楽しい時間はあっという間に過ぎますね。